

新しい百科事典が入りました！

百科事典とは…あらゆる分野の事からや現象などについて項目を立て、一定のルールで配列し、解説する事典。(ポプラディア第三版 13巻 p.188)
(↑この説明も百科事典に掲載されているものです。)

新しく入ったのは「ポプラディア 第三版(全18巻)」です。
この百科事典は多くの学校図書館に置かれています。10年ぶりに新版が出ました。

版が違うと何が違うの？

発行された時は最新の情報でも、時間が経つにつれて古くなっていきます。時代に合わせた内容にするために、定期的に内容を見直し、修正して新しいものを出版する必要があります。
つまり、版が新しいほど、時代に合った内容の本になっている、ということです。

百科事典はどんな時に使う？

わからない言葉があるときや、調べたい事がはっきりしないとき



ネットで調べるのではダメなの？

インターネットは簡単に検索できて便利です。しかし、見つけた情報が正しいものであるか判断する必要があります。その判断をするためにはより正確な知識や経験が必要です。そういった知識を得るためには本を読むことが最短の道です。

また、本で調べることは長期記憶に残りやすい、と言われています。「情報」を得るだけの場合はネットでも良いかもしれませんが、「知識」として獲得したい場合は本から情報を得ると効果的です。

さらに、百科事典は調べていること以外の事柄も自然と目に入ってきます。
「寄り道」をしながら読書をするより知識が増えて深まります。

**気になることや調べたいことがある時、
まずは百科事典から調べてみませんか？**



新 着 図 書



『ぼくはイエローでホワイトで、
ちょっとブルー 2』
著者：プレイディみかこ
中学生の「ぼく」の日常は、
今も世界の縮図のよう。“事件”
続きの暮らしの中で、少年は大
人へのらせん階段を昇っていく。



『愛と差別と友情と
LGBTQ+』
著者：北丸雄二
偏見を助長してきた言葉や
文脈を更新し、日本で流通
してきた「LGBTQ+」情
報の空洞を埋める希望の書



『13歳からの食と農』
著者：関根佳恵
食糧不足や気候変動危機を受け
大きく方針転換しつつある食と農
の問題を、「家族農業の10年」、
SDGs等のキーワードでわかりや
すく解説



『月曜日の抹茶カフェ』
著者：青山美智子
人は知らず知らずのう
ちに、誰かの背中を押してい
ることに気づく、一杯の抹
茶から始まる、心癒やされ
るストーリー

『木曜日にはココアを』青山美智子

『批評の教室 チョウのように読み、ハチのように書く』北村紗衣

『くらしのアナキズム』松村圭一郎

『「脳コワさん」支援ガイド』鈴木大介

『無意味のススメ 〈意味〉に疲れたら、〈無意味〉で休もう。』川崎昌平

『月に3冊、読んでみる?』酒井順子

『ヤバすぎる日本刀伝説』小和田哲男／監修

『日本刀を嗜む』刀剣春秋編集部／監修

『情報を正しく選択するための認知バイアス事典』情報文化研究所／著 高橋昌一郎／監修

『失敗の科学 失敗から学習する組織、学習できない組織』マシュー・サイド／著 有枝春／訳

『図書館文化論』加藤好郎

『異文化理解力』エリン・メイヤー／著 田岡恵／監訳 樋口武志／訳

『J. デューイ 新装版』山田英世

『精神分析入門』上・下 フロイト



図書のリクエストを受け付けています

読みたい本が学校図書館にない時はリクエストすることができます。図書室内にリクエスト用紙がありますので、記入して提出してください。